

## まちづくり市民意見交換会 開催結果

### 1. 開催目的

第7次総合計画後期基本計画の策定に向け、市民生活の現状や課題、「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向けた取組などについて意見交換を行い、計画に反映する。

### 2. 内 容

- ・市からの話題提供：上越市の現状と課題について
- ・意見交換：4人程度のグループに分かれ、以下の3点について意見等を交換
  - ①「日ごろから感じている上越市の課題は何ですか」
  - ②「将来、不安に感じることや心配に思うことはありますか」
  - ③「これから必要な取組は、何だと思いますか」

### 3. 会場別の開催状況（参加者数：56人）

| 日 時                | 会 場                   | 参加者数 |
|--------------------|-----------------------|------|
| 6月3日（水）18：30～20：00 | 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5 | 12   |
| 6月4日（木）18：30～20：00 | ユートピアくびき希望館 第3会議室     | 16   |
| 6月5日（金）18：30～20：00 | 板倉コミュニティプラザ 市民ホール     | 14   |
| 6月8日（月）18：30～20：00 | 市民プラザ 第1会議室           | 14   |
| 合 計                |                       | 56   |

（市民意見交換会の様子）



#### 4. 主な意見

①日ごろから感じている上越市の課題は何ですか。

②将来、不安に感じることや心配に思うことはありますか。

##### 健康福祉分野

###### 【高齢者支援】

- ・高齢のため、将来、食料等の購入に不安を感じている。（70代）
- ・高齢になり一人での生活が難しくなることで、地元に住み続けたくても住めなくなることに不安を感じている。（60代、80代）

##### 産業・経済分野、農林水産分野

###### 【企業誘致の促進】

- ・大学・専門学校があるが、多くの若者が市外に出てしまう。（50代）
- ・若者が就職したいと思うような仕事が無い。（50代、60代）

###### 【観光の振興】

- ・市民の声アンケートで自然環境や食の豊かさを実感している人が多いが、観光PRが盛んで観光客が多いと実感している人は少なく、上手に観光を商品化できていない。（50代）

###### 【農業の振興】

- ・農家も高齢化しており、今後、稲作をやめる人が多いと思われる。（50代）
- ・中山間地域の農業は生業にならず、耕作放棄地が増加している。（80代）

##### 教育分野

- ・不登校児童の増加が社会問題になっている。（70代）

##### 都市整備・生活基盤分野

###### 【公共交通】

- ・車を持っていないと市内の移動が大変である。（50代）
- ・利用者が少ないバスの運行など、公共交通が非効率である。（50代）
- ・高齢者の移動（交通）手段が少ない。（60代）
- ・10～20年後、公共交通が維持できているかが心配である。（70代）
- ・学生の通学時間でも公共交通が少ない、保護者による送迎が必要で負担がある。（60代）

## 都市整備・生活基盤分野

### 【生活インフラの整備】

- ・道路の舗装が悪い。（70代）
- ・人口減少が進むに伴い、インフラの維持ができるか不安である。（60代）

### 【居住空間の確保】

- ・空き家が増えていること。（60代、70代）
- ・空き家バンクが利用しづらい。（40代、60代）
- ・居住地が広く分散してしまっている。（60代）

### 【雪対策】

- ・高齢者が多くなっており、除雪が大変である。（60代）
- ・市の除雪ボランティア支援が活用しづらい。（70代）

### 【鳥獣対策】

- ・熊などの野生動物が出没しており不安がある。（50代）

## 行財政・市民参画など

### 【財政運営】

- ・人口が減少すれば税収が減り、財源をどうするかが課題である。（50代）
- ・経常収支比率が厳しい状況にあり、市の税金の使い方に無駄が多い。（50代）
- ・公の施設の維持が将来にかけて足を引っ張っていく。（80代）

### 【情報提供の充実】

- ・地域資源・魅力の発信が不足している。（30代、40代、50代、60代、70代）

### 【地域コミュニティ】

- ・子どもや若者が少なく、やりたいことができない。コミュニティ力が減少している。（70代）
- ・まちづくりに携わる人の減少に伴い、地域の行事の開催が難しくなっている。（50代）
- ・高齢化に伴う地域コミュニティの担い手不足が生じている。（50代）

### 【市民参画のまちづくり】

- ・まちづくりが行政任せになっていること。（70代）
- ・まちづくりの次世代の担い手が不足している。（50代）

③これから必要な取組は、何だと思いますか。

#### 生活環境分野

##### 【防災対策】

- ・水害や土砂災害を防ぐためにも中山間地を守る取組が必要である。（70代）

#### 健康福祉分野

##### 【高齢者支援】

- ・高齢者が地元に住み続けられるよう、元気な高齢者と生活にサポートが必要な高齢者が一緒に暮らせるシェアハウスを整備する。（60代）

##### 【地域医療】

- ・地域医療を維持するため、地域医療センター病院の改築を進める必要がある。（80代）

#### 産業・経済分野

##### 【企業誘致の促進】

- ・若者が働きたくなるような企業を誘致する。（50代、60代、70代）

##### 【雇用・労働環境の改善】

- ・雇用のミスマッチを改善する。（70代）
- ・若者が働きやすい労働環境を整備する。（50代、70代）

##### 【産業・観光の振興】

- ・交流人口を増やすため、インバウンド対策を強化する。（70代）
- ・産業や観光で稼ぐ力を身に付けること。（70代）

#### 教育分野

##### 【教育の充実】

- ・観光など派手な分野に目が行きがちだが、次代を担う子どもの教育など、地道なことを着実にこなしてほしい。（70代）
- ・若い人に教育の中で地域に興味を持たせる。（50代）
- ・社会の中で若者（子ども）が上越市について学べる機会をつくる。（60代）
- ・産官学連携による地域課題の解決のため、理工学系の大学を誘致する。（70代）

## 都市整備・生活基盤分野

### 【生活インフラの整備】

- ・命に関わるインフラ整備を最優先にしてもらいたい。（70代）

### 【公共交通】

- ・交通インフラの見直しが必要。（50代）
- ・高齢者の移動手段を確保しつつ、公共交通の利便性と持続可能性を高めるため、デマンド化を進める。（70代）
- ・上越妙高駅を有効活用し、駅周辺を活性化させる。（40代）

### 【居住空間の確保】

- ・少子化の状況においても、子どもや地域の人を楽しめる公園を整備すること。（40代）
- ・空き家対策をきちんとしてほしい。（60代、70代）
- ・空き家・空地の所有者と田舎暮らしを希望する人を繋ぐサービスを作ってもらいたい。（40代）

## 行財政・市民参画など

### 【市政運営】

- ・人口減少・少子高齢化を前提としたまちの仕組みを考える必要がある。（50代、70代）
- ・人口が減少しているため、コンパクトシティ化を進める。（50代、60代、70代）
- ・都市部の事業の真似ではなく、地域の実情に合わせた取組を行う。（40代）
- ・若い人の視点で施策を考えて欲しい。（80代）
- ・地域資源・魅力の発信を強化する。（30代、40代、50代、60代、70代）

### 【財政運営】

- ・税金の無駄使いをやめて、不要な施設を廃止する。（60代）
- ・既存施設を有効活用する。（50代）

### 【地域コミュニティ】

- ・地域コミュニティの維持について、地域の自助だけに頼るのではなく行政も関与して欲しい。（40代）
- ・集落の持続可能性を図るため、町内会の合併が必要である。（60代）
- ・地域のために活動したいと思っている人に対し、市によるきっかけづくりの取組が必要である。（60代）

### 【中山間地域の維持・保全】

- ・中山間地域でも若者が暮らしていけるような仕組みを強化して欲しい。（40代）
- ・地域おこし協力隊を増やしてもらいたい。（50代）

**【市民参画のまちづくり】**

- ・市民がまちづくりを自分事として捉える必要がある。（70代）
- ・地域の実情に合わせて、地域住民がまちづくりをしていく必要がある。（60代）
- ・若い人の意見を聞ける場を作してほしい（50代）

**【UIJ ターンの促進】**

- ・若者のUターンを促すため、地域の子どもに地元の魅力を感じてもらう取組が必要である。（80代）
- ・市外に出た若者が戻ってきたくするような取組が必要である。（60代、80代）
- ・リモートワーク層を取り込むなど、移住・定住を促進する。（50代）
- ・移住を促進するために民間事業者と連携して取り組む。（60代）

**【多文化共生の推進】**

- ・多文化共生社会の推進、外国人の子ども一人一人へのケアが大切である。（70代）
- ・外国人市民が増えてきているため、共生のためのルール作りが必要である。（60代）